

● 隠岐たより

隠岐の島町今津地区では毎年1月15日に、豊作・豊漁
家内安全・無病息災を願う“とんど焼き”が行われます。

今年の1月15日は、前日からの雪も残り、気温は0℃
と寒い朝であった。朝7時 前日に波打ち際に建てられ
た御神木に、次々と藁が積み上げられ、正月飾りやお守
りが入った紙袋(さいふ)を飾り付けていきます。

御神木の傍らでは、小学生の男子が和太鼓を叩き拍子
を取りながら、とんど焼きの始まりを知らせてる。そして
その時が来た。

朝8時 藁に火を付けると、その炎は一気に燃え上がり
“とんど焼き”が始まった。

3分後、炎に包まれた御神木は海に倒され、一気に16
名の厄年の男たちが海へ飛び込んだ。見ている私は彼ら
の勇気に脱帽した。倒された御神木2本を、厄年の男た
ちが海から担ぎ出し、その内の1本は、昨年お祝いごと
の有った今津地区の民家へ、もう1本は西郷地区の民家
へ運ばれました。

“とんど焼き”の神事はあっという間に終わったが、隠岐
の島で行われる伝統行事を、まじかで見ることが出来た事
に感謝した朝です。



御神木の周りに藁を積み上げる



御神木に紙袋(さいふ)と吹き流しを取り付ける

一気に燃え上がる御神木



海に倒れた御神木を、海に飛び込んだ厄年の男達が引き上げる